

衛 生 費

衛生費の支出済額は、3,483,290,897円で、対前年度比273,111,984円、7.27パーセントの減で、歳出総額に対する構成比は7.58パーセントです。

衛 4
生
費 款

4 款 1 項 1 目 保健衛生総務費

健康づくり推進事業

(健康づくり支援課)

決算事項別明細書 179 ページ

予算現額	15,906,000 円		決算額	15,035,375 円		
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	870,625 円	決算額の 財源内訳		県 支 出 金	124,000 円	
前 年 度 比 較	決算額			14,146,777 円	地 方 債	
	増減額			888,598 円	そ の 他	
	増減率	6.28%	一 般 財 源	14,911,375 円		

<目的>

「すこやか推進員会」、「すこやか体操普及指導員連絡会」、「健康づくり推進協議会」の市民健康づくり 3 団体との協働により、地域における健康づくり活動の推進を図ることを目的とします。

<内容>

第 3 次健康日本 21 狭山市計画・第 2 次狭山市食育推進計画の 6 分野（栄養・食生活、身体活動・運動、休養・こころの健康、歯と口腔の健康、喫煙・飲酒、生活習慣病予防）をテーマとする各種事業を開催し、健康づくりの意識啓発を図るとともに、ソーシャルキャピタルを踏まえた地域での健康づくり運動を推進し、1 次予防から 3 次予防まで連続性のある事業を展開します。

また、健康づくり活動の担い手育成のため、健康づくり 3 団体に補助金の交付を行い、研修会などを実施します。

<実績・成果等>

1 第 3 次健康日本 21 狭山市計画・第 2 次狭山市食育推進計画

「第 2 次健康日本 21 狭山市計画・狭山市食育推進計画」を継承するとともに、栄養・食生活、身体活動・運動、休養・こころの健康、歯と口腔の健康、飲酒・喫煙、生活習慣病予防の 6 分野に加え、ソーシャルキャピタルを踏まえた地域での健康づくり運動を推進しました。

2 地域における健康づくり事業の推進

狭山市すこやか推進員の活動

事業名	体操教室	ウォーキング	会 議 PR 活動等	体力測定会	合 計
回 数	2,285 回	74 回	10 回	10 回	2,379 回
参加者数	36,307 人	1,216 人	128 人	290 人	37,941 人

3 団体等における健康づくり事業の推進

(1) すこやかさやま連絡協議会事業

ア 狭山茶の里ウォーキング 令和元年 11 月 10 日（日）参加者 2,800 人

イ 健康づくり講演会 令和元年 12 月 14 日（土）参加者 241 人

テーマ「認知症をよせつけない！正しい認知症予防の知識」

(2) 狭山市健康づくり推進協議会事業

健康づくり推進協議会は、栄養改善、運動等を通じた市民の健康づくりのため、公民館等へ出向いて料理教室や体操教室を行いました。

事業名	料理教室	ウォーキング	健康体操	会員研修等 その他活動	合計
回数	19回	3回	4回	5回	31回
参加者数	561人	110人	146人	263人	1,080人

(3) 狭山市すこやか体操普及指導員連絡会事業

すこやか体操普及指導員は、すこやか体操を地域へ普及することを目的として、市内の公民館事業・自治会の事業などや、各種イベント等での指導依頼を受けて活動しています。

事業名	サピオ 体操教室	指導員 自主研修	朝の体操会	依頼に よる活動	合計
回数	21回	4回	998回	43回	1,066回
参加者数	434人	85人	21,762人	6,012人	28,293人

4 むし歯予防デー

歯と口の健康週間にちなみ、保健センターを会場として、歯の衛生に関する正しい知識の普及啓発、歯科健診、相談、歯みがき指導、及びフッ化物塗布を実施しました。

参加人数は、以下のとおりです。

区分	健診	歯磨き指導	フッ素塗布
参加者数	789人	789人	394人

5 健康遊具

健康増進を図り、介護予防を目的とした健康遊具を、柏原六区公園に6基設置しました。

設置した健康遊具は、「背のばしベンチ」・「ふみいたストレッチ」・「ぶらぶらストレッチ」・「座位体前屈測定」・「ダブル踏み台昇降」・「ボートこぎ」といった、主に高齢者の体力に合わせて利用していただけるものとなっており、効果として、筋力や柔軟性の強化が期待できます。

6 献血事業・骨髄移植ドナー助成金

企業・学校の協力を得て95回実施し、採血者は延べ2,391人でした。献血事業の実施結果内訳は、以下のとおりです。

また、骨髄移植ドナー助成金事業を行っておりますが、本年度は実績がありませんでした。

区分	事業所献血	学校献血	合計
200ml	124人	65人	189人
400ml	2,160人	42人	2,202人
合計	2,284人	107人	2,391人
実施回数	91回	4回	95回

7 健康長寿サポーター養成講座

自らの健康づくりとともに、家族や地域社会に健康情報を広めることで、草の根レベルでの生活習慣の改善に取り組む人材を養う講習会を行いました。狭山市の健康長寿サポーターは現在、累計で1,125人となっています。

本年度実績 開催数 2回 / 養成人数 50人

4 款 1 項 1 目 保健衛生総務費

ふれあい健康センター管理事業

(健康づくり支援課)

決算事項別明細書 179 ページ

予算現額	132,947,000 円		決算額	132,685,340 円	
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金	
不 用 額	261,660 円			県 支 出 金	
前 年 度 比 較	決算額	117,964,480 円		地 方 債	
	増減額	14,720,860 円		そ の 他	
	増減率	12.48%	一 般 財 源	132,685,340 円	

<目的>

市民の健康増進及び相互交流の促進を図り、市民福祉の向上に寄与するため、指定管理者による適切な施設の管理運営を行います。

<内容>

収益性を重視した民間類似施設とは異なり、市民の健康増進と相互交流を図りながら市民福祉の向上に寄与するため、指定管理者による適切かつ効率的な施設の管理運営を行います。

<実績・成果等>

市民の健康づくりとふれあいの場として利用されるよう努めました。

施設の利用状況及び使用料の収入は次のとおりです。

1 個人利用

区 分	個 人 利 用						計	
	プ ー ル		トレーニングルーム		浴 室 等		利用者数	使用料
	利用者数	使用料	利用者数	使用料	利用者数	使用料		
合 計	116,399 ^人	33,626,420 ^円	55,161 ^人	9,436,870 ^円	39,414 ^人	10,708,280 ^円	210,974 ^人	53,771,570 ^円

※浴室等：浴室、リラクspプール、大広間、談話室

※個人利用には、回数券の利用も含まれます。

2 団体利用

区 分	団 体 利 用						計	
	レクリエーションルーム		会 議 室		研 修 室		利用者数	使用料
	利用者数	使用料	利用者数	使用料	利用者数	使用料		
合 計	8,403 ^人	750,200 ^円	7,420 ^人	372,600 ^円	7,377 ^人	310,650 ^円	23,200 ^人	1,433,450 ^円

3 自主事業

区 分	開催回数	利用者数	収 入	支 出	収 支
水泳教室	1,070 ^回	9,748 ^人	7,436,600 ^円	3,172,015 ^円	4,264,585 ^円
講 座	799	6,014	6,216,500	3,231,550	2,984,950
各種イベント	10	2,249	392,900	100,729	292,171
合 計	1,879	18,011	14,046,000	6,504,294	7,541,706

※各種イベント：カラオケ大会、サピオ春祭り、サピオ秋祭り

4 款 1 項 1 目 保健衛生総務費

健康長寿埼玉モデル事業（総合戦略事業）

（健康づくり支援課）

決算事項別明細書 181 ページ

予算現額	5,388,000 円		決算額	4,644,800 円		
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	743,200 円	決算額の 財源内訳		県 支 出 金	1,548,266 円	
前 年 度 比 較	決算額			5,240,204 円	地 方 債	
	増減額			△595,404 円	そ の 他	
	増減率	△11.36%	一 般 財 源	3,096,534 円		

<目的>

市民が事業に参加することにより、健康的な生活習慣の維持や改善を図ることで、健康寿命を伸ばし医療費の抑制を図ります。

<内容>

健康づくりを推進し、支援していくため、埼玉モデルプラン（プラス1,000歩）と健康マイレージ事業を併せ、ポイント制によりインセンティブを付与する健康づくり事業を実施します。

<実績・成果等>

- 1 参加者数・・・1,148人（令和2年3月末現在参加者累計）
- 2 「プラス1,000歩達成ポイント」の付与方法
参加者ごとに設定された一週間の基準歩数より、各週の平均歩数が1,000歩以上、上回るごとに100ポイントずつ付与しました。
- 3 「健康づくりイベント参加ポイント」付与対象事業
健康づくり講座、講演会などへの参加ごとに、ポイントを付与しました。
 - (1) 健康づくり講座・講演会実施回数（全3回）
 - ア 第1回健康づくり講座 テーマ「食と健康の関係」
令和元年10月20日（日） 会場：西武文理大学
講師 西武文理大学看護学部看護学科 伊藤千春 助教
参加者数 84人
 - イ 第2回健康づくり講座 テーマ「フレイル予防」
令和元年12月7日（土） 会場：狭山市保健センターAB会議室
講師 西武文理大学看護学部看護学科 尾崎美恵子 准教授
参加者数 116人
 - ウ 健康づくり講演会 テーマ「認知症をよせつけない！正しい認知症予防の知識」
主催 すこやかさやま連絡協議会
令和元年12月14日（土） 会場：狭山市民会館小ホール
講師 医療法人尚寿会 あさひ病院 認知症看護認定看護師 西村由美子 氏
参加者数 241人（うち、おりぴい健康マイレージ参加者数 116人）
 - (2) 狭山茶の里ウォーキング
令和元年11月10日（日）中原公園（新狭山）から狭山市駅西口市民広場までのウォーキング
10kmコース及び6kmコースの参加者 2,800人（内おりぴい健康マイレージ参加者数 231人）
- 4 景品の進呈
「プラス1,000歩達成ポイント」と「健康づくりイベント参加ポイント」の2つを合計で3,500ポイント以上獲得した参加者に、景品として「農協全国商品券（1,500円分）」を進呈しました。景品進呈者は、参加者1,069人中431人。※参加者数は令和元年12月末現在

4 款 1 項 1 目 保健衛生総務費

初期救急医療体制整備事業

(健康づくり支援課)

決算事項別明細書 181 ページ

予算現額	41,446,000 円		決算額	41,289,935 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	156,065 円			県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			42,430,462 円	地 方 債	
	増減額			△1,140,527 円	そ の 他	
	増減率	△2.69%	一 般 財 源	41,289,935 円		

<目的>

狭山市急患センターは、初期救急医療機関として休日や夜間における入院を必要としない軽症の救急患者を診療しています。市民が安心できる医療体制を整備するため、二次救急や三次救急と連携を図り救急医療体制の整備を進めることを目的としています。

<内容>

休日（医科9時から17時・歯科9時から12時）及び夜間（医科のみ19時30分から22時30分）における初期救急医療体制の充実強化を図ります。また、狭山市急患センターと入間市夜間診療所との相互受診体制により、両市で1週間を通じた初期救急を確保します。

<実績・成果等>

一般社団法人狭山市医師会、狭山市歯科医師会、狭山市薬剤師会の協力により、日曜、祝日、年末年始の休日及び夜間における救急医療体制の確保に努めました。

日曜日・祝日昼間の診療状況

区 分	診療日数	延 べ 受診者数	1日平均 受診者数	市 内 受診者数	市内受診 者の割合	市 外 受診者数	市外受診 者の割合
医 科	76 日	2,659人	34.99人	2,194人	82.51%	465人	17.49%
歯 科	76	194	2.55	146	75.26	48	24.74

夜間の診療状況

区 分	診療日数	延 べ 受診者数	1日平均 受診者数	市 内 受診者数	市内受診 者の割合	市 外 受診者数	市外受診 者の割合
医 科	155日	461人	2.97人	284人	61.61%	177人	38.39%

※平成21年4月1日から入間市と合同で夜間診療を開始し、狭山市では、火曜日・水曜日・金曜日を担当しました。

4款 1項 3目 母子保健費

母子保健事業

(保健センター)

決算事項別明細書 185 ページ

予算現額	27,685,000 円		決算額	23,654,655 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金	4,471,566 円	
不用額	4,030,345 円			県支出金	1,957,283 円	
前年度 比較	決算額			21,940,927 円	地方債	
	増減額			1,713,728 円	その他	1,521,840 円
	増減率	7.81%	一般財源	15,703,966 円		

<目的>

乳幼児の健康診査等の実施が義務付けられており、乳幼児の健康の保持・増進を図ることを目的とします。

<内容>

乳幼児の疾病の早期発見、早期治療のため、乳幼児健康診査を実施します。また、各種健康診査の事後指導の徹底や育児不安の解消、虐待予防などのため、訪問や健康相談・教育などの事業を実施します。

<実績・成果等>

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一部の事業を延期・中止にしました。

1 乳幼児健康診査

集団健康診査 各年間15回	対象人数	受診人数	受診率	要経過観察人数	要精密検査人数	要治療人数	むし歯ありの人数
4か月児健康診査	787 ^人	772 ^人	98.09%	112 ^人	7 ^人	53 ^人	— ^人
1歳6か月児健康診査	924	880	95.24	203	2	19	7
3歳児健康診査	899	873	97.11	134	32	37	64

2 訪問

事業名	実人数	延べ人数	事業名	訪問数	面会数
新生児妊産婦訪問(乳児)	568 ^人	572 ^人	乳幼児すこやか訪問事業	76 ^件	52 ^件
家庭訪問(母子)	670	1,142	こんにちは赤ちゃん事業	807	775

3 教室・講習会・相談

事業名	実施回数	延べ人数	事業名	実施回数	延べ人数
マタニティスクール	7 ^回	129 ^人	ぴよんぴよんるーむ	10 ^回	29 ^組
両親学級	6	144	ペアレントサポート教室	1	26 ^人
乳幼児健康相談	12	745	発達関連予約相談	36	84
すくすくベビー	12	153	母乳相談	26	94
※離乳食講習会は食育推進事業に掲載			ぱくぱくベビー	6	71

4 その他

事業名	申請実人数	給付実人数	事業名	実人数	延べ日数
未熟児養育医療給付	22 ^人	28 ^人	宿泊型産後ケア事業	6 ^人	28 ^日

4 款 1 項 3 目 母子保健費

母子保健型利用者支援事業（総合戦略事業）

（保健センター）

決算事項別明細書 185 ページ

予算現額	15,509,000 円		決算額	14,072,702 円		
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金	4,979,000 円	
不用額	1,436,298 円	決算額の 財源内訳		県支出金	4,501,000 円	
前年度 比較	決算額			13,103,676 円	地方債	
	増減額			969,026 円	その他	
	増減率	7.40%	一般財源	4,592,702 円		

<目的>

妊娠届時における保健師等の面談からその後の支援により、妊娠期から子育て期にかけて切れ目のない支援を実施することで、安心して出産し子育てができる支援体制の構築を目的とします。

<内容>

保健センターと市役所本庁舎に「母子健康手帳交付窓口」を設け、妊娠届出の際、保健師等が妊婦と直接面談し、妊婦の状況を把握します。また、面談において利用できる母子保健サービス等の情報を提供し、特に支援の必要な妊婦には、関係機関と連携した支援を行います。

<実績・成果等>

1 妊娠届出者数（転入による妊婦健康診査助成券発行者を含む）

全体	保健センター	本庁舎 （母子健康手帳交付窓口）
984 ^人 （100%）	243 ^人 （24.70%）	741 ^人 （75.30%）

2 母子健康手帳発行冊数

全体	日本語版	外国語版
941 ^冊	886 ^冊	55 ^冊

※双子などの多胎による複数発行、紛失などによる再発行を含みます。

3 特に支援の必要な妊婦

特に支援の必要な妊婦は 136 人で、保健師が地区担当ケースとして支援を行っており、現在も支援を継続しているケースもあります。

4 款 1 項 3 目 母子保健費

妊婦健康診査事業

(保健センター)

決算事項別明細書 187 ページ

予算現額	88,219,000 円		決算額	79,175,720 円	
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金	
不 用 額	9,043,280 円			県 支 出 金	
前 年 度 比 較	決算額	80,603,825 円		地 方 債	
	増減額	△1,428,105 円		そ の 他	
	増減率	△1.77%	一 般 財 源	79,175,720 円	

<目的>

母子保健法により妊婦の健康診査の実施が義務付けられており、妊婦の健康の保持・増進を図ることを目的とします。

<内容>

妊婦の疾病の早期発見、早期治療のため、妊婦健康診査を実施します。

<実績・成果等>

1 健診内容

妊婦健康診査（14回のうち超音波検査4回を含む。）、HBs抗原検査、HCV抗体検査、HIV抗体検査、子宮頸がん検査、HTLV-1抗体検査、クラミジア検査及び風疹ウイルス抗体検査、ノンストレステスト（NST）を実施しました。

2 受診状況

埼玉県一括契約により1都6県の医療機関と契約を締結し、受診者の利便性の向上に努めました。
また、一括契約を締結していない医療機関等で受診した妊婦52人に対しては、出産後に市町村負担限度額を上限に助成しました。

回数	1	2	3	4	5	6	7
受診者数	860人	857人	833人	834人	820人	811人	813人

回数	8	9	10	11	12	13	14
受診者数	802人	719人	812人	662人	758人	540人	313人

検 査	HBs 抗原検査	HCV 抗体検査	HIV 抗体検査	子宮頸がん 検 査	HTLV-1 抗体検査	クラミジア 検 査	風疹ウイルス 抗体検査	ノンストレス テスト
受診者数	854人	855人	854人	833人	821人	873人	854人	662人

4 款 1 項 3 目 母子保健費

早期不妊検査・治療費助成事業費（総合戦略事業）

（保健センター）

決算事項別明細書 187 ページ

予算現額	5,847,000 円		決算額	3,024,429 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	2,822,571 円			県 支 出 金	2,121,000 円	
前 年 度 比 較	決算額			2,835,742 円	地 方 債	
	増減額			188,687 円	そ の 他	
	増減率	6.65%	一 般 財 源	903,429 円		

<目的>

晩婚化の進展に伴い、年齢を重ねるほど妊娠率は下がり、妊娠・出産に係るリスクは高まる中で、子どもを望む夫婦に対し、不妊・不育検査や治療に係る費用を助成することにより負担の軽減を図り、少子化社会対策に繋げることを目的とします。

<内容>

子どもを望む夫婦に対し、不妊や不育に係る検査及び治療費を助成します。

<実績・成果等>

1 早期不妊検査・不育症検査

事業名	申請件数
早期不妊検査費助成事業	49 件
不育症検査費助成事業	5

2 早期不妊治療

事業名	申請件数
早期不妊治療費助成事業	20 件

4款 1項 4目 予防費

予防接種事業

(保健センター)

決算事項別明細書 187 ページ

予算現額	434,898,000 円		決算額	338,184,982 円		
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金	8,618,000 円	
不 用 額	96,713,018 円	決算額の 財源内訳		県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			343,672,693 円	地 方 債	
	増減額			△5,487,711 円	そ の 他	42,000,000 円
	増減率	△1.60%	一 般 財 源	287,566,982 円		

<目的>

伝染のおそれがある疾病の発生及びまん延を予防するために、予防接種を行い、公衆衛生の向上及び増進に寄与するとともに、予防接種による健康被害の迅速な救済を図ることを目的とします。

<内容>

ヒブワクチン、小児用肺炎球菌、B 型肝炎、BCG、4 種混合、不活化ポリオ、2 種混合、麻しん風しん混合、水痘、日本脳炎、子宮頸がん、高齢者インフルエンザ、高齢者肺炎球菌、風しん抗体検査及び風しん第 5 期予防接種

<実績・成果等>

区 分	ヒブ	小児用肺炎球菌	B 型肝炎	BCG (集団及び個別接種)
対象者数	989 ^人	989 ^人	900 ^人	856 ^人
接種者数	829 ^人 (延べ3,332 ^人)	834 ^人 (延べ3,394 ^人)	829 ^人 (延べ2,463 ^人)	864 ^人
接 種 率	83.82%	84.33%	92.11%	100.93%

区 分	4種混合 (ジフテリア・破傷風・百日咳・ポリオ)	不活化ポリオ	2種混合
対象者数	996 ^人		1,152 ^人
接種者数	814 ^人 (延べ3,471 ^人)	1 ^人	862 ^人
接 種 率	81.73%		74.83%

区 分	麻しん風しん混合		水痘	
	1 期	2 期	1 回目	2 回目
対象者数	961 ^人	1,101 ^人	993 ^人	977 ^人
接種者数	904 ^人	981 ^人	918 ^人	861 ^人
接 種 率	94.07%	89.10%	92.45%	88.13%

区 分	日 本 脳 炎				子宮頸がん
	1期初回		1期追加	2期	
	1回目	2回目			
対象者数	996 ^人		1,047 ^人	1,107 ^人	3,461 ^人
接種者数	1,135 ^人	1,129 ^人	1,393 ^人	1,226 ^人	27 ^人 (延べ53 ^人)
接 種 率	113.96%	113.35%	133.05%	110.75%	0.78%

※日本脳炎予防接種は、接種の差し控えの時期があった方に順次、接種勧奨を行っています。
特例対象者に対する接種も含まれます。

※子宮頸がん予防接種は、平成 25 年 6 月の接種勧奨を差し控える通知の影響で、接種者は少ない状況が続いています。

区 分	高齢者 インフルエンザ	高齢者肺炎球菌
対象者数	46,928 ^人	5,839 ^人
接種者数	18,772 ^人	1,982 ^人
接 種 率	40.00%	33.94%

※平成 26 年 10 月から高齢者肺炎球菌予防接種が定期接種となり、さらに、令和元年度から、定期接種の対象者の拡大が図られ、70 歳以上の未接種の方に、継続して接種機会が設けられました。

※高齢者肺炎球菌予防接種は、国の方針で生涯に一度限りの助成対象となっているため、令和 2 年 2 月に未接種者に対する再案内通知を行いました。

区 分	風しん第5期	
	抗体検査	予防接種
対象者数	8,219 ^人	417 ^人
受検者数/接種者数	2,078 ^人	372 ^人
受検率/接種率	25.28%	89.21%

※平成 30 年 7 月以降、30 歳代から 50 歳代の男性を中心に風しん患者数が増加したため、風しん予防接種の公的接種を受ける機会がなかった男性を対象に、令和元年度以降の 3 年間に限り、風しん抗体検査を実施し、その結果、十分な量の抗体がない方に対して風しん又は麻しん風しん混合ワクチンの予防接種を行うことになりました。

4款 1項 4目 予防費

食育推進事業

(保健センター)

決算事項別明細書 187ページ

予算現額	881,000円		決算額	802,706円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	78,294円			県支出金	147,525円	
前年度 比 較	決算額			540,538円	地方債	
	増減額			262,168円	その他	50,600円
	増減率	48.50%	一般財源	604,581円		

<目的>

誰もが健康で心豊かに人生を送ることができるよう、食を通じて家族や地域のつながりを深め、健康な食生活を営む力を高めることを目的とします。

<内容>

「主食・主菜・副菜」を組み合わせたバランスのよい食事の普及や野菜の摂取量、家族や友人と一緒に食事をする機会の大切さ等について啓発するため、講習会等を実施します。

<実績・成果等>

1 小中学生への啓発用リーフレットの作成と配布

- (1) 朝食の大切さや朝食の望ましい料理の組み合わせを啓発するため、新小学1年生の保護者、小学1年生、5年生、中学1年生にリーフレットを配布しました。
- (2) 食事づくり力（主食・主菜・副菜を組み合わせたバランスの良い食事を整えることができる力）を高めることを目的に小学3年生、中学1年生にリーフレットを配布しました。

2 講習会等の開催

- | | | | |
|--------------|--------|--------|------------|
| (1) 子どもお弁当教室 | 対象/小学生 | 開催数/3回 | 参加者数/延べ52人 |
| (2) 健康料理教室 | 対象/大人 | 開催数/5回 | 参加者数/延べ68人 |

3 保健センター事業での食育

事業名	回数	延べ人数
離乳食講習会 (4か月児健診、乳幼児相談時)	26回	814人
おやつ指導 (1歳6か月児健診時)	15	733
エプロンシアター (3歳児健診時)	15	868

4 副菜料理摂取量アップ事業

1日に必要な野菜量350gを体験的に理解してもらうため、1皿量70gの野菜を使った副菜料理の試食を3歳児健診時に15回499人に実施しました。

5 関係機関との協働事業

関係機関との協働事業を16回、延べ183人に実施しました。

4款 1項 4目 予防費

成人保健事業

(保健センター)

決算事項別明細書 189 ページ

予算現額	272,599,000 円		決算額	270,271,227 円	
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金	434,000 円
不 用 額	2,327,773 円			県 支 出 金	2,047,000 円
前 年 度 比 較	決算額			235,802,339 円	地 方 債
	増減額	34,468,888 円	そ の 他	16,259,389 円	
	増減率	14.62%	一 般 財 源	251,530,838 円	

<目的>

健康増進法により健康教育・健康相談等の実施及びがん対策基本法等によりがんの予防の推進、検診の実施等が義務付けられており、健康の保持・増進とともに、疾病の予防を図ることを目的とします。

<内容>

生活習慣病やがんの早期発見・早期治療のため、健康診査や各種がん検診を実施します。また、メタボリックシンドローム及び糖尿病などの生活習慣病の予防に向けて、健康教育・健康相談などを実施します。

<実績・成果等>

1 がん検診

事業名	申込者数及び方法(回数)		受診者数	要精検者数	がん発見数	
胃 がん	1,421 [^]	集団(24回)	469 [^]	406 [^]	18 [^]	0 [^]
		個別	952	5,438	402	17
肺 検 査	-	集団(25回)	-	867	13	0
		個別	-	16,422	292	10
喀 痰	-	集団(25回)	-	7	0	0
		個別	-	214	3	0
大 腸 がん	-	集団(25回)	1,137	1,117	64	3
		個別	-	10,784	843	27
乳 がん	1,227	集団(25回)	568	544	42	2
		個別	659	4,016	185	18
子宮がん	723	頸部	723	3,879	32	0
		体部	-	1,803	5	2
前立腺がん	373	集団(25回)	74	74	5	1
		個別	299	282	20	0

※ 令和元年度から胃がん・乳がん・子宮がん検診について、40歳、45歳の方、また、過去3年以内に受診歴のある方に、申し込み不要で受診券を直接郵送し受診勧奨を実施しました。

※ 胃がん検診を40歳、45歳(レントゲン検査)と、50歳以上(レントゲン検査又は内視鏡検査)に対象者を変更して実施しました。

2 健康診査・肝炎ウイルス検診・骨粗しょう症検診・成人歯科（歯周病）健診

事業名		申込者数及び実施方法(回数)		受診者数
健康診査	30歳代	—人	集団(25回)	155 ^人
	特定健診	—		1,206
	生活保護	—	個別	94
肝炎ウイルス検診		516	個別	382
骨粗しょう症検診		249	集団(3回)	245
成人歯科健診		481	個別	1,005

3 健康教育

事業名	延べ回数	延べ人数	事業名	延べ回数	延べ人数
糖尿病予防教室	1コース6 ^回	65 ^人	骨粗しょう症ミニ講座	24 ^回	245 ^人
血管いきいき教室	1コース6	89	骨折予防教室	1コース2	115
健康はなまる講座	2コース4	37	地域での保健教育	2	75
シェイプアップ体操	10	51	地域での栄養教育	3	91
こここランチ	4	22	地域での歯科教育	3	111

4 健康相談

事業名	回数	延べ人数	事業名	回数	延べ人数
個別相談 (特定保健指導対象者)	28 ^回	74 ^人	こころの相談日	6 ^回	14 ^人
			保健相談(電話)	随時	1,827
一般健康相談	26	54	栄養相談(電話)	随時	35
精神保健相談	5	11	歯科相談(電話)	随時	50

5 特定保健指導

狭山市国民健康保険の特定保健指導対象者に利用券を送付し、211人に特定保健指導を行いました。(利用率15.6パーセント)

6 訪問指導

在宅の要援護者等を対象として、保健師等による訪問指導を28人に実施するとともに、精神保健関係の訪問指導を、精神保健福祉士、保健師により95人に実施し、精神保健の個別相談を精神保健福祉士等により228人に実施しました。

7 自殺予防対策関連事業

○心の健康に関する啓発事業 講演会3回開催

1回目「あなたが大切な人にできること～うつ蔓延社会をうつ円満社会へ～」参加者110人

2回目「職場や生活の中でできるストレスマネジメント～こころの余裕の作り方～」参加者58人

3回目「人はなぜ依存症になるのか～アルコール、ギャンブル、インターネットなど～」参加者56人

※市民向けゲートキーパー研修会は、新型コロナウイルス感染予防のため開催を中止しました。

○こころの健康講座

「ひきこもりの問題を抱える家族のつどい」1回目参加者6人、2回目参加者8人